

イノベーションを生み出す研究開発システム～研究成果の普及、展開の促進

<http://www.jst.go.jp/innovate/>

学会との連携による開催を企画中！ 今年度は日本化学会と連携して実施予定！！



JST Innovation Bridge

～シーズ発表とポスター展示による産学交流～

イノベーションを創出する可能性のあるシーズ候補を産業界の視点で探索いただく場を提供



基礎研究成果発表

大学等の最先端基礎研究成果を研究者自ら発表(聴講者:企業)

聴講者はポスター展示等にて研究内容をさらに深く理解可能

企業ニーズに合致するシーズ候補があれば発表者と直接意見交換



ポスター展示

産学共同シーズイノベーション化事業への応募を検討!!

平成19年3月開催の「JST Innovation Bridge」

・3月12日 東京工業大学

・3月20日 九州大学

・3月26日 四国地区4大学

・3月26日 日本化学会(初めての学会と連携)

取り組みの例

「科学技術情報の流通促進」

○「科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)」

科学技術に関する学協会の論文誌等の電子ジャーナル化を支援。
インターネットを通じて広く世界に発信。さらに、我が国の学協会誌の発信力の強化及び重要な知的財産の保存のため、創刊号に遡って科学技術分野の学協会誌の電子アーカイブ化を実施。



○「技術者の継続的能力開発のためのコンテンツ開発・提供」及び「失敗知識データベース」の整備

<http://weblearningplaza.jst.go.jp/>

<http://shippai.jst.go.jp/fkd/Search>

技術者等に要求される技術革新能力や技術管理能力を含めた技術力向上のため、技術者の継続的能力開発に資するインターネット自習教材を開発・提供。教材制作は学協会等との連携も重視。



科学技術分野の事故や失敗の分析から得た知識等を整理、公開。

平成18年度においては、「失敗知識」の普及のため、学協会等の協力を得て「失敗知識活用セミナー」を開催。

○「研究者・研究成果等のデータベース(研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD))」 <http://read.jst.go.jp/>

産学官連携、研究成果の活用、および研究開発の促進に資することを目的として、国内の大学・公的研究機関等に関する機関情報、研究者情報、研究課題情報、研究資源情報を網羅的に収集・提供。研究者の所属学協会を収録。



電子情報発信・流通促進 (J-STAGE) ~ 学術雑誌の電子ジャーナル化を支援 ~

概要

科学技術に関する文献情報の発信と流通の迅速化と国際化を図るため、科学技術に関する学協会の論文誌等について投稿から査読、審査、公開までの一貫した流れを電子的な方法で作成可能なシステム環境(J-STAGE)を整備し、インターネットを通じて広く世界に発信・流通させる。また、JSTリンクセンターを通じて、J-STAGEで公開される論文等と他の電子ジャーナルサイトや文献情報データベースとをリンク。J-STAGEに搭載されている論文の引用文献の全文の参照、他の電子ジャーナル記事からの引用や文献情報データベース検索結果からのJ-STAGE搭載論文へのアクセスを可能にする。

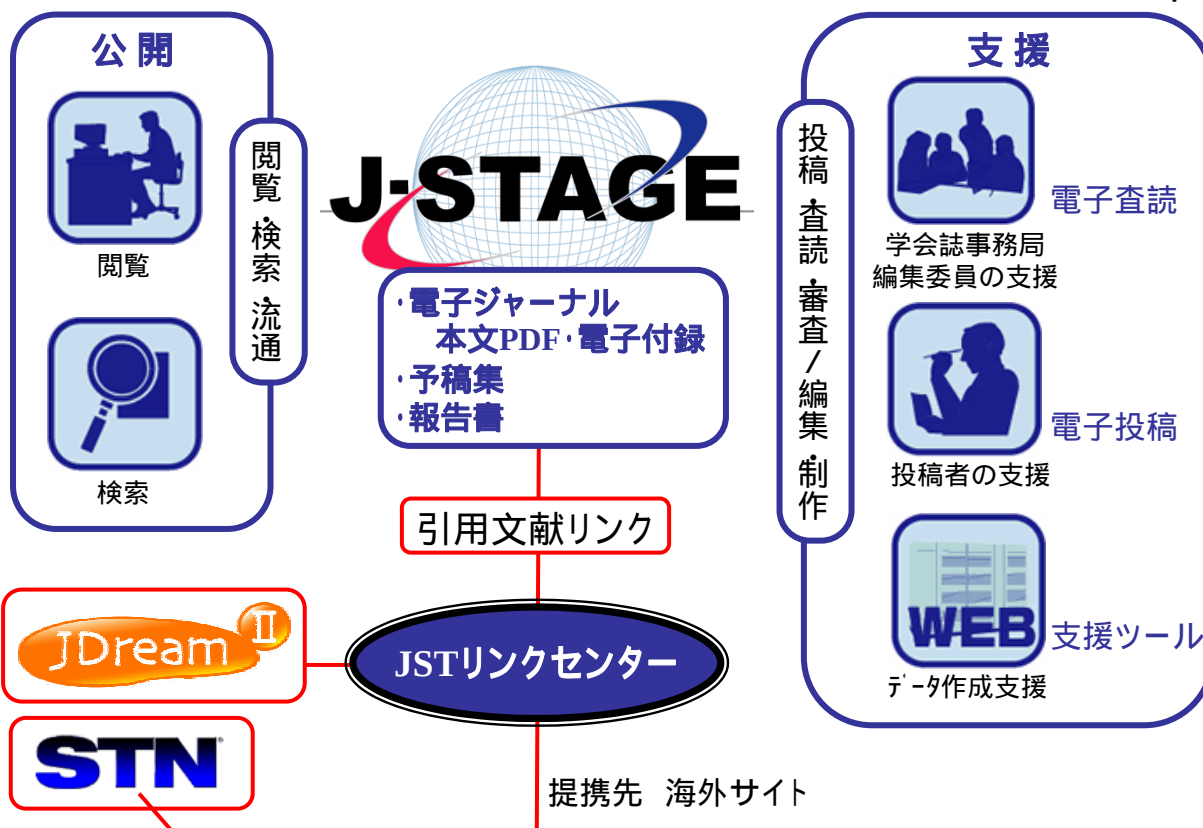
平成11年10月より運用開始。平成16年1月より新システム運用開始。

<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>

J-STAGE支援対象誌のうち、公開済みの学会誌は、

- ・公開学会誌:
485学会誌
(内英文誌:165誌)
- ・論文ダウンロード数:
約60万件/月

平成19年2月末現在



J-STAGE支援対象誌

- ・参加学会: 432学会
- ・参加学会誌: 603学会誌
- ・登載記事: 約24万件

- ・参加学協会:
日本化学会、日本機械学会
日本物理学会、高分子学会
人工知能学会 等

平成19年2月末現在

海外からも幅広い利用
(6割以上は海外から)



海外からの論文ダウンロード数
平成18年 約350万件